| <b>事</b> 类 力    | 事業概画 (北早 口が)   | <b>事类中</b> (生  | 主たる                             | L                                       |                             |               |                                 |                  |   |   |   | 事 業 評 価  |                |             |   |                    |           |                      |  |                       |   |  |    |  |
|-----------------|--|--|---------------------------------|---|-----------------------------|---------------|---------------------------------|------------------|---|---|---|--|----------------|-------------|---|--------------------|-----------|----------------------|--|-----------------------|---|--|----|--|
| 事業名             | 事業概要(背景・目的)  | 事業実績   | 対象者                             |   | 目                           | 標①            |                                 | 目標②              |   |   |   | 得られた効果   |                |             |   | ABC                | D評価       | i                    |  |                       | 今後の展開・改善  |  | 備考 |  |
| 巡回・窓口相談指<br>導事業 | 課題解決指導を最優先としのレベルアップをきるとしのレベルアップをきがあれれいた行って会員・非を行いな場がである。 またり、事業所の財務が変の説明・ は過解を行う。 その必要を必要を必要を必要を必要を表しています。 これ は できる ものは 積極的に行う。                                    | 経営指導員個々が担当する業務の中で、担当等等での強みを活か、管とした関係を持ちた。 日本   |                                 | 指標                                      | 巡回窓口指導延件数                   |               | 課題解決提案件数<br>指標<br>(達成度 160.0 %) |                  | 小規模事業者を直接訪問<br>し経営指導員がその事業<br>所の内容をよく把握する | 総合  |   | 事実   | 自己評価<br>A      | 調査事業を       | 満足度<br>———————————————————————————————————— | 補足                 | 目標① 現行どおり | 目標② 現行どおり            | 毎月巡回件数を確                                 |                       |   |  |    |  |
|                 |  |  | 小規模事業者                          | 目標数値                                    | 1, 500                      | 実績数値          | 2, 460                          | 目標数値             | 50  | 実績数値  | 80  | ことにより、適切な経営<br>指導ができた。   | 評 価            |             | 評側価の  | 目標達成度              | 結果の       | 必要性                  |  | 実施方法① 現行どおり           | 実施方法② 現行どおり   | 認し目標達成に努める。  |    |  |
|                 | 小規模事業者を対象に日々<br>の帳簿の付け方から、年末   | - 記帳継続指導 19事業<br>所 - 記帳機械化指導 27事業<br>所 - 指導延日数 224日<br>- 指導延回数 438回  | 小規模事業者<br>及び税理士関<br>与のない事業<br>所 | 指標                                      | 記帳継続指導事業所数 (達成度 82.6 %)     |               | 指標                              |                  |   |   | 記帳継続指導と機械化指導の対象者計46事業所について日々の記帳から決算、申告までの指導を行った。1事業所あたり3回 | 総  |                | 事実          | 自己評価<br>B                                   | 調事                 | 満足度<br>A  | 補足                   | 目標①                                      | 目標② 会計ソフトを使っ          |   |  |    |  |
| 記帳継続指導          |  |  |                                 | 日抽                                      | 23                          | 実績数値          | 19                              | 目標数値             | 27  | 実績数値  | 27  | 以上対面形式で帳簿の作成など<br>の問題について指導を行った。<br>市内の小規模事業者に正しい記<br>帳の仕方を指導し、レベルアッ                 | 評価             |             | 業施<br>評側<br>価の                              | 目標達成度              | 査結果の      | 必要性                  | -  | 実施方法①                 | 実施方法②   | て記帳している事<br>業所に対しても指<br>導範囲を広げる。   |    |  |
|                 | ・講習会<br>・講習会<br>小規模事業者等に対して、必要な経<br>営知識を提供し資質向上と経営体質   | - 講習会開催回数及び受講者数<br>集団 12回 127名<br>(内、経営革新 1回 9名)<br>個別 197回 356名<br>計 209回 433名<br>しごと塾 受講者数 0名<br>中止<br>座学 0日 0科目 0時間<br>個別相談 0回 0名   |                                 | 41°-13°                                 | 集団・個別 参加人数                  | 参加人数          | 11-, 100                        | せと・しこ            | <br>ごと塾                                   | 参加人数  | ブに寄与した。   |  |                |             | 自己評価  |                    | A<br>満足度  | 補足                   | 現行どおり 目標①                                | 現行どおり                 | ・講習会<br>特に実施方法は変えない事実に一ズを把握、実内容を検討し<br>充実とできませる。<br>連定をごとと塾<br>瀬戸はかります。 |  |    |  |
| 講習会等            | 営知識を提供、資質向上と経営体<br>の強化に対するために実<br>地域の二人で軽調をビジネスとし<br>て継続的に取り組む 地域ビジネスとし<br>ス」の創業を猶戸市内にて目指す<br>を対象に、新業をする优全を提供が創<br>等で、就集のインである起来が<br>させる環境プリンを図り、地域経済<br>の発展に寄与する。 |  | 小規模事業者                          | 指標                                      | (達成度                        | Ę 68. 7       | %)                              | 指標               | (達成度                                      | (達成度 %)   |   | ・集団・個別講習会を開催することにより、小規模事業者が最新の知識を  | 総合評            | 」<br>第      | 事実<br>業施<br>評側                              | ŧ .                | 調査は       | Α                    | 新型コロ<br>ナウイル<br>ス感染症                     | 下げる                   |   | 現行どおり  |    |  |
|                 |  |  |                                 | 目標数値                                    | 703                         | 実績<br>数値      | 483                             | 目標数値             | _   | 実績<br>数値  | _   | 身につけ、経営体質強化を図ることができた。  | 価              |             |   | 目標達成度              | 果の        | 必要性                  | により一<br>部事業中<br>止                        | 実施方法①                 | 実施方法② 現行どおり   | 進める。地域ビジネス<br>色の濃い内容は、市役<br>所交本格学び課に創業を目<br>が、本格的な創業を目<br>指す方の支援に特化す<br>る。 |    |  |
| 若手後継者等育成<br>事業  | 企業経営者(後継者等)、企業経営<br>に携わる女性に対して、研修会等を<br>開催し企業経営者として研鎖をつ<br>み、当所事業活動に参加・協力を通  | ・青年部 勉強会2回47名、会長研<br>修会参加 1回3名<br>・満足度調査 98%   | 小規模事業者<br>等を中心とす<br>る青年部女性      | 指標目標                                    | 勉強会・                        |               | 会参加人数<br>%)                     | 指標               | (達成度 140.0 %)       目標 数値   70 実績 数値 98   |   |   | 資質向上の研修会等を通<br>じて自己研鑚、組織運営<br>の手法を学ぶことにより<br>自社の活性化や地域振興                             | 合              |             | 事実<br>業施<br>評側                              | 自己評価<br>A<br>目標達成度 | 調査結       | 満足度<br>A<br>必要性      | 補足                                       | 目標①<br>現行どおり<br>実施方法① | 目標②<br>現行どおり<br>実施方法②   | 青年部・女性会ともに自己研鑚にこれからも努める。<br>地場産業である陶磁器                                     |    |  |
|                 | じ商工業の振興を図る。<br>瀬戸市を代表する地場産業をPRす  | · 女性会 →中止  | 会会員                             | 数值                                      | 56<br>せとも                   | 数值            | 50<br>K場者数                      | 数値               |   |   | 98  | 活性化に繋がった。  |                |             | 価の  | A<br>自己評価          | 果の        | A<br>満足度             | 補足                                       | 現行どおり目標①              | 現行どおり 目標(2)   |  |    |  |
| 地域産業祭事業         | る産業祭である「せをもの祭」を開催する。このイベントにより直接的<br>(廉売市)な経済的効果・間接的に<br>は全国的な知名度アップにつなげる。  | ・せともの祭 9月12日<br>(土) 、13日 (日) →中止   | 小規模事業者<br>及び中小企業<br>者           | 指標<br>目標<br>数値                          | (達成度                        |               | %)                              | 指標<br>目標<br>数値   | (達成度                                      | 実績数値  | %)  | 新型コロナウイルス感染<br>症の影響により事業中止<br>となった。  | 総合評価           | -           | 事業評価の                                       | 日標達成度              | 調査結果      | 必要性                  | 新型コロナ<br>ウイルス感<br>染症による<br>中止のため<br>評価なし | 現行どおり 実施方法① 現行どおり     | 実施方法②   | 地域を<br>関連業を<br>支援してい<br>く大きなイベントであ<br>り、さらに内容を充実<br>させていく必要があ<br>る。        |    |  |
| 商店街振興事業         | 消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出等、地元商店街店等への購買力流出等、地元商店街の様々な経営課題解決に向け、瀬戸市商店街連合会との協力体制の下、地域の消費喚起などを図り、各  | ・瀬戸市商店街連合会事業<br>への協力<br>・定例打合せ会 8回、各種<br>会議等 4回  | 小規模事業者<br>を中心とする<br>市内商店街       | 指標目標                                    | 指標<br>(達成度<br>目標 12         | 実績            | 会議開催回数 %)                       | 指標目標             | 視察研<br>(達成度                               | 実績  | 射催回数<br>%)<br>_   | 商店街並びに商店主の意識高揚に繋がった。   | 総合評価           | А           | 事業評価の                                       | 自己評価<br>A<br>目標達成度 | 調査結果      | 満足度<br>A<br>必要性      | 補足<br>新型コロナ<br>ウイルス感<br>染症により<br>一部事業中   | 目標①<br>現行どおり<br>実施方法① | 目標②<br>現行どおり<br>実施方法②   | 瀬戸市商店街連合会と<br>の連携により先進地視<br>察等の事業を実施し商<br>店街活性化に努める。                       |    |  |
|                 | 種事業に取り組む。  | ・会議所ニュース 年8回<br>・メールマガジン 年46回<br>(内臨時配信 22回)   |                                 | 数值                                      | 会議所ニュース発行回数                 |               | 数值                              | メールマ             | 数値  メールマガジン発行回数                           |   | 当所が発行する「会議所ニュー<br>ス」「メールマガジン」により                          | Щ  |                | <u>ш</u> 07 | A<br>自己評価                                   | o                  | A<br>満足度  | 補足                   | 現行どおり 目標①                                | 現行どおり 目標②             |   |  |    |  |
| 情報収集提供事業        | 当所が発行する「会議所<br>ニュース」「メールマガン<br>ン」によりい規模施等・各<br>種事業をPRし小規模等業<br>者の各種制度等の利用を勧<br>奨する。  |  | 小規模事業者                          | 指標                                      | (達成度                        | (達成度 100.0 %) |                                 | 指標 (達成度 191.7 %) |   | 小規模施策・各種事業をPR<br>し、小規模事業者の各種制度等<br>を利用をして頂き、事業所のレ<br>ベルアップに寄与した。また、<br>全戸配布版の会議所ニュースに | 総合  | , 3  | 事実<br>業施<br>評側 | Α           | 調査は事業者                                      | A                  |           | 現行どおり                | 現行どおり                                    | 会議所事業の周知・PRをさらに       |   |  |    |  |
|                 |  |  |                                 | 目標<br>数値                                |                             | 実績<br>数値      | 8                               | 目標数値             | 24  | 実績<br>数値  | 46  | まり会議所で行っている事業等<br>を市民に周知することができ<br>た。メールマガジンの臨時配信<br>では、新型コロナウイルス関係<br>の制度等の情報を配信した。 | 価              |             | 評側価の  | 目標達成度<br>A         | 和果の       | 必要性                  |  | 実施方法①                 | 実施方法② 現行どおり   | 積極的に行う。  |    |  |
| 商談会事業           | ・地域商談会(尾張会場)<br>瀬戸市内の中小・小規模企業者を中<br>心とした企業が、受注機会の増大及   | ・地域商談会(尾張会場)一中止<br>・アライアンス・パートナー発掘市<br>商談期間 6月22日 (月)~6月26<br>日(金) 商談会場 名古屋商工会議所 5<br>企業がエシトリー<br>・企業が表見合い<br>商談規制 10月23日(金)<br>商談会場 多治見市産業文化セン<br>ター<br>参加企業2社<br>・「壱」素優<br>商談期間 1月29日(金)、30日<br>(西談会場 セラミックバーク製INO | 小規模事業者                          | A - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - | 参加企業数<br>指標<br>(達成度 58.3 %) |               |                                 |                  |   |   | ・アライアンスパート  |  |                |             | 自己評価  |                    | 満足度       | 補足                   | 目標①                                      | 目標②                   | ・地域商談会(尾張会場) 地域の参加企業が増え   |  |    |  |
|                 | び新規取引先の開拓を図るととも<br>に、企業間の情報交換を選出共同受<br>注、共同開発、技術提携を促進する<br>ことにより振列と、バートノー発掘する<br>受知策トアの商事。<br>東京、大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大                          |  |                                 | 指標                                      |                             |               | 指標                              | (達成度 %)          |   | %)  | ナー発掘市<br>愛知県下の各地事業者の<br>取引機会を増やすことが                       | 総合   | 1.             | 事実業施        | В   | 調査事業者              | В         | 新型コロ<br>ナウイル<br>ス感染症 | 現行どおり                                    |                       | るように積極的にPRを<br>実施したい。<br>・アライアンス・パー<br>トナー発掘市<br>寄談の機会を設けるイ             |  |    |  |
|                 |  |  | 及び中小企業<br>者                     | 目標数値                                    | 12                          | 実績数値          | 7                               | 目標数値             |   | 実績数値  |   | できた。 ・企業お見合い・「き」 業展 事業者の取引機会を増や すことができた。   | 評価             | B           | 評側価の  | 目標達成度              | 一<br>結果の  | 必要性                  | により一<br>部事業中<br>止                        | 実施方法①                 | 実施方法②   | ベントとして非常に意<br>義がある。PR方法を検<br>討して参加者数を増や<br>したい。<br>・企業お見合い・                |    |  |
|                 |  |  |                                 | 剱他                                      |                             | メル            |                                 |                  |   | ᄴᄩ  |   | 9 ことか ぐざた。   |                |             |   | С                  |           | Α                    |  | 現行どおり                 |   | ・正来の兄古い・<br>「き」業展<br>PRを積極的に行い参<br>加者を募る。                                  |    |  |

- ※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

|           | T   |   | 1 2 1 7                     |                |                                   |                          |                                 |                   |                                 |   | +   | AHL :        | ===  ==        |                   |                    |              |                              |                               |                       |  |   |    |
|-----------|---|---|-----------------------------|----------------|-----------------------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|---|---|--------------|----------------|-------------------|--------------------|--------------|------------------------------|-------------------------------|-----------------------|--|---|----|
| 事業名       | 事業概要(背景・目的)   | 事業実績  | 主たる<br>対象者                  |                | 目標①                               |                          |                                 | 目 標②              |                                 |   | 事<br>得られた効果   | 莱            | 評価             |                   | ABC                | D 評価         | <u> </u>                     |                               | 今後の展開・改善点等            |  |   | 備考 |
| 異業種交流事業   | 異業種交流グループは参加各事業所<br>が自主的かつ自由な異業種間の交流<br>活動を通して各々の潜在能力を啓発<br>するとともに、共同研究及び共同開  | ・役員会 3回<br>・例会 0回 →中止   | 中小・小規模事業者を中心                | 指標             | 例会開催回数<br>(達成度 %)                 |                          | 指標                              | (達成度              |                                 | %)  | 役員会は開催したもの<br>の、新型コロナウイルス   | 総合           | 1 7            | 事実業施              | 自己評価               | 調査事業を        | 満足度                          | 補足 新型コロナ                      | 目標① 現行どおり             | 目標②                                    | 例会(視察・勉強<br>会等)の開催については、時節に   |    |
|           | 発を行うことにより、技術力及び経<br>営力の向上を図り、又は新しい事業<br>活動を創造することにより、参加企<br>業の発展と地域の振興に資すること<br>を目的とする。                                   |   | とする異業種<br>交流グループ<br>会員事業所   | 目標<br>数値       | 3 実績数値                            |                          | 目標数値                            |                   | 実績<br>数値                        |   | 感染症の影響で例会は開催できなかった。   | 評価           |                | 評側価の              | 目標達成度              | 結果の          | 必要性                          | 染症による<br>事業中止の<br>ため評価な<br>し  | 実施方法① 現行どおり           | 実施方法②                                  | あった内容・テーマを検討して実施するように努める。   |    |
| 調査・広報事業   | 全国の中小企業・小規模事<br>業者の景況について調査を<br>実施する。   | ・LOBO調査<br>毎月、モニター(2組合)に対し、<br>調査6項目、並びにその時期ごとに<br>付帯調査項目2~3について、前年対<br>地並びに向こう3ヶ月の見通・や当<br>面の経営上の問題等について通り査を<br>た。<br>・無況調査<br>四半期ごとにモニター50以に対し売<br>上等の調査・直面している経営上の問題の等について調査を<br>が、新規数値を<br>工会議所へ報告を行った。 |                             | 指標目標值          | 延調査(LOB(                          |                          | 指標                              |                   | 延調査件数<br>(景況調査)                 |   | 瀬戸市内の業界・業種ご   |              |                |                   | 自己評価               |              | 満足度                          | 補足                            | 目標①                   | 目標②                                    | ・LOBO(早期<br>景気観測)調査<br>毎月の調査をモニ<br>ター(3)に対し   |    |
|           |   |   | を中心とする                      |                | (達成度 100.                         | 0 %)                     |                                 | (達成度 100.0 %)     |                                 | %)  | との企業の景気動向を把握し、日本商工会議所へ調査報告を行うことにより、全国各地域の景気動                            | 総合評          | , 1            | 事実業施評側            | Α                  | 調査結<br>事業者。  | Α                            |                               | 現行どおり                 | 現行どおり                                  | て確実に、指定された期日に実施する。・景況調査   |    |
|           |   |   | 管内事業所                       |                | 24 実約<br>数値                       | ~ I 2/I                  | 目標数値                            |                   | <b>致1</b> 但                     | 200   | 向を確認、把握すること<br>ができ、企業経営の一助<br>となった。                                     | 価            |                | m 1 D()           | 目標達成度              | 果への          | 必要性                          |                               | 実施方法①                 | 実施方法②                                  | 四半期ごとの調査<br>をモニター(5<br>0)に対して確実   |    |
|           |   |   |                             |                | 就職フェア                             | <b>平提</b>                |                                 | 音目亦               |                                 | 加多数   |   |              |                |                   | A<br>自己評価          |              | A<br>————<br>満足度             | 補足                            | 現行どおり                 | 現行どおり                                  | こ、指定された期日に実施する。 ・就職フェア等につい  |    |
| 雇用促進事業    | 管内の企業が必要とする労働力の維持確保及び従業員  | ・高等学校進路指導担当教諭対象の地元企業見学会一中止<br>・高等学校進路指導担当教諭と<br>事業所との意見高等学校進路担当<br>教諭との打合せ36米人裁問館<br>(書面会議) 36名<br>・就職フェア 11月18日 (水)<br>127名 (一般104名、学生23名)   | 事業者を中心                      | 指標             | (達成度 84.7                         |                          | 指標                              | 意見交換会参加者数 (達成度 %) |                                 |   | 中小・小規模事業者が必   | 総            |                | 事実                | В                  | 調事           |                              | 新型コロ<br>ナウイル                  | 上げる                   | 現行どおり                                  | ては、企業説明会等を<br>含め開催値数を増出す<br>し、雇用機りを創元な<br>とにより援する。<br>業の雇用を支援する。                      |    |
|           | の福祉と定着をはかり、<br>もって産業経済の発展に寄<br>与することを目的とする。   |   |                             | 目標             | 150 実統                            | ± 107                    | 目標                              |                   | 実績                              |   | 要とする労働力の維持確保に貢献することができた。  | 合評価          | A              | 業施評側価の            | 目標達成度              | 査結果の         | 必要性                          | ス感染症<br>により一<br>部事業中          | 実施方法①                 | 実施方法②                                  | ・意見交換会について<br>は、採用予定がなくて<br>もできるだけ情報交換<br>の場として参加してい<br>ただけるよう積極的に<br>参加要請していきた<br>い。 |    |
|           |   |   |                             | 数值             | 150 数值                            |                          | 数値                              | _                 | 数値                              | _   |   |              |                |                   | В                  |              | Α                            | <sub>ፒ</sub>                  | 現行どおり                 | 現行どおり                                  |   |    |
| 人材育成事業    | ・ 簿記、珠算、リテールマーケティング(販売<br>土) 会種検定試験は会社運営や仕事上の<br>基礎能力の向上に寄与する。<br>・ 瀬戸・尾張旭屋用対策協議会<br>管内の企業が必要とする労働力の維<br>持確保及び従業員の福祉と定着を図 | ・簿記、珠算、リテールマーウティング(販売<br>- 簿記 11月15日(日)、2月28日<br>(日) (日) (日) (2月28日<br>(日) (日) (日) (2月9日<br>(日) (日) (1月17日<br>(水) (販売士) 2月17日<br>(水)  | 小規模事業者                      | 指標             |                                   | 各種検定実施回数<br>(達成度 62.5 %) |                                 | 労働請               | マナーセミナー・<br>講座受講者数<br>g 42.5 %) |   | ・簿記、珠算、リテールマーケティング・(販売士) 市内小規模事業等の事業主、従                                 | 総            | ]              | 事実                | 自己評価               | 調事           | 満足度<br>A                     | 補足<br>新型コロ                    | 目標①                   | 目標②                                    | ・検定のPRをし、各種<br>検定受検者を増やし事<br>業者の能力アップを図<br>る。   |    |
|           |   |   | 及び中小企業<br>者及びその社<br>員、市民    | 日標             | (達成度 62.8                         |                          | 月標                              | (達队及              |                                 |   | 業員、将来を担う学生・生徒・<br>児童の各種能力アップに繋がった。<br>た。<br>・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会              | 合評価          | В              | ず業評価の             | B<br>目標達成度         | 調査結果の        | 必要性                          | ナウイル<br>ス感染症・<br>によりー<br>部事業中 | 下げる<br><u>実施方法</u> ①  | 現行どおり 実施方法②                            | ・ビジネスマナーセミ<br>ナーについては、対象<br>者を新入社員に限定せ<br>ず、受講者を増やす。                                  |    |
|           | り、もって産業経済の発展に寄与す<br>ることを目的とする。  | ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会<br>ビジネスマナーセミナー<br>4月10日(金) 17名   |                             | 数値             | 8 数值                              | : h                      | 数値                              | 40                | 実績<br>数値                        | 17  | 企業が必要とする従業員のスキ<br>ルアップ等により、経営体質の<br>強化を図ることができた。                        |              |                |                   | С                  | 0)           | Α                            | 部事業中<br>止                     | 現行どおり                 | 現行どおり                                  | 労働講座についても<br>ニーズに応じた内容で<br>受講者を増やす。   |    |
|           | 企業経営者(後継者等)、<br>企業経営に携わる女性に対<br>して、研修会等を開催し企  | ・青年部 総会3回、役員会等<br>25回、例会0回、その他(委員会<br>等)41回   |                             | 指標             | 青年部会議開催回数<br>(達成度 89.6 %)         |                          | 女性会会議開催回数<br>指標<br>(達成度 90.0 %) |                   |                                 |   | 総会・役員会・地域振興事業等<br>へ参加することにより、組機運<br>営等の手法を学び、各事業を実                      | 総            | 3              | 事実業施              | 自己評価<br>B          | 調<br>事<br>業  | 満足度<br>A                     | 補足<br>新型コロ<br>ナウイル            | 目標① 現行どおり             | 目標②現行どおり                               | 事業内容等につい<br>て大きな変更はな<br>いが、会員の地元  |    |
| 青年部・女性会事業 | 業経営者として研鑚をつ<br>み、当所事業活動に積極的<br>に参加・協力を通じ地域内<br>の商工業の振興を図る。  | ・女性会 総会1回、役員会等<br>17回、例会4回、その他(委員会<br>等)14回   | を中心とする青<br>年部69名、女<br>性会30名 | 目標数値           |                                   |                          | 目標数値                            | 40                | 実績<br>数値                        | 36  | 施する過程として企画から実現までを経験できた。この経験は、参加企業の経営力向上等に生かすことができた。                     | 合評価          | A              | 来 心<br>評 側<br>価 の | 目標達成度              | 宣結果<br>の     | 必要性                          | ス感染症<br>により一<br>部事業中<br>止     | 実施方法①                 | 実施方法②                                  | いか、会員の地元<br>貢献・自己研鑽の<br>意識向上に努め<br>る。   |    |
|           | 7部会(陶磁器・商業・建設・<br>工業・窯業原料・サービス業・<br>金融)、4委員会(工業・商業・   | ##A CE  |                             | 指標             | 部会・委員会開催回数<br>(達成度 38.9 %)        |                          | 指標 (達成度 %)                      |                   |                                 | %)  | 相互情報交換が可能となり、直<br>面する経済環境対応事業実施に  | 総合           |                | 事実                | 自己評価               | 事業           | 満足度                          | 補足                            | 目標① 現行どおり             | 目標②                                    | さらに充実した事  |    |
| 部会・委員会事業  | 総務・産業観光)の開催により<br>所属部会等の小規模事業者のき<br>め細かいニーズの把握や発展を<br>図る。   | · 部会 6回<br>· 委員会 1回   | 小規模事業者                      | 目標数値           | 標 10 実績 7                         | 目標数値                     | 目標                              |                   | ,                               | あたりスムーズな運営を図ることができた。また、事務局として市内事業所の各種ニーズ把握の場となった。 | 合評価   | B            | 業施<br>評側<br>価の | 目標達成度             | 食結果の               | 必要性<br>A     | ウイルス感<br>染症により<br>一部事業中<br>止 | 実施方法①                         | 実施方法②                 | 業内容にするためよく検討する。                        |   |    |
| 福利厚生事業    | 中小・小規模企業の福利厚生が<br>不十分であることが多いため、  | 巡回・窓口・講習会等で各種共済制度の普及を推進、加入を促進した。共済加入事業所総数1,489社   | 小規模事業者<br>及び中小企業            | 指標             | 各種共済加入事業所総数<br>(達成度 102.7 %)      |                          | 指標                              | (達成度 %)           |                                 | %)  | 市内小規模事業等の事業<br>主、従業員等への福利厚  | 総合証          | , ,            | 事実業施              | 自己評価<br>A          | 調査は事業者       | 満足度                          | 補足                            | 目標①                   | 目標②                                    | 今後も積極的に加<br>入促進を図ってい  |    |
|           |   |   | 者                           | 目標<br>数値       | 1, 450 実績<br>数値<br>受託、収納          | 1, 489                   | 目標<br>数値                        |                   | 実績<br>数値                        |   | 生の一助となった。   | 評価           | ſ              | 評側価の              | 目標達成度<br>A<br>自己評価 | 桁果<br>の<br>事 | 必要性<br>A<br>満足度              | 補足                            | 実施方法①<br>現行どおり<br>目標① | 実施方法②                                  | ζ.  |    |
| 労働保険事業    | 労働(特) (対災・雇用保険) の加入<br>手続きや保険料の申告納付、各種届<br>出に関する事務手続きを代行し、労<br>働保険の適用促進と労働保険料の適<br>正な徴収を行う。                               | ・労働保険料の受託、収納<br>目標事業所数127社<br>・会議、研修など 0回   | 小規模事業者<br>及び中小企業<br>者       | 指標<br>目標<br>数値 | (達成度 110. 実統 数値                   | 4 %)<br>責 <sub>127</sub> | 指標<br>目標<br>数値                  |                   |                                 | 市内小規模事業者等の労<br>働保険の事務手続きの一<br>助となった。              | 総合評価  | A            | 事業評価の          | A<br>目標達成度        | 調査結果が業者への          | A<br>必要性     | - 111374                     | 上げる<br>実施方法①                  | 実施方法②                 | 今後も労働保険の<br>事務手続きの一助<br>となるように努め<br>る。 |   |    |
| 産業団体等指導事業 | ・瀬戸市環境パートナーシップ事業<br>者会議<br>瀬戸市が開催している瀬戸市環境<br>パートナーシップ事業者会議の幹事  | ・瀬戸市環境パートナーシップ事業<br>者会議 会員数56社<br>瀬戸市環境パートナーシップ事業者<br>会議幹事会・総会等への参加<br>環境に関する事業への参加<br>「環境にやさしい事業所認定制度」<br>の周知 [環境にやさしい事業所認定制度」<br>変知県経営者協会瀬戸支部<br>支部例会 4回 (7・9・11・3月)                                      |                             | 数値 指標          | 女    <br>瀬戸市環境パートナーシップ<br>事業者会議会員 |                          | 知恒 指標                           |                   | 数值  <br>経営者協会瀬戸支部<br>部例会開催回数    |   | ・瀬戸市環境パートナーシップ<br>事業所会議<br>環境に関する多くの情報を得る                               |              | T.             | ,щ 07             | A<br>自己評価          | v            | A<br>満足度                     | 補足                            | 現行どおり 目標①             | 目標②                                    | ・瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議   |    |
|           |   |   | 小規模事業者<br>及び中小企業<br>者       | i i            | (達成度 98.2                         | 2 %)                     | 田保                              | (達成度              | 66.7                            | %)  | スポに関する多くの情報を持る<br>ことができ、当所が実施する事業等を紹介する場所となり事業<br>者の意見等を聞ける機会とも<br>なった。 | 事業 総合評価<br>料 | Δ 3            | 事実<br>業施<br>評側    | В                  | 調査結へ         |                              | 新型コロ<br>ナウイル<br>ス感染症          | 現行どおり                 | 現行どおり                                  | 環境問題に関する会議 に出席し市内事業者の 指導の一環とする。来 一年度も同様に参加。 ・ 受知県経営者協会瀬 戸支部 ・ 今後もニーボ即の情報等 を提供する。      |    |
|           |   |   | 日                           | 目標<br>数値       | 57 実約<br>数値                       | 56                       | 目標<br>数値                        | 6                 | 実績<br>数値                        | 4   | ・愛知県経営者協会瀬戸支部<br>企業の人事労務管理の参考資料<br>の提供や情報交換により経営強<br>化を図ることができた。        |              |                | 価の                | 目標達成度<br>B         | 果の           | 必要性<br>A                     | により一<br>部事業中<br>止             | 現行どおり                 | 現行どおり                                  |   |    |

- ※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。